

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月30日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18320
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第3節 男女共同参画社会づくりの推進	評価担当課	男女共同参画課
施策名	女性のエンパワーメントによる社会活動への参画促進	課長名	木村 文江

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

男女共同参画社会の実現に向け、女性が自ら力をつけ、その能力を発揮するとともに、自らの意思によって主体的に選択できるよう支援するなど、社会のあらゆる場面への参画を促進する。  
男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)を中心に様々な事業を実施する中で、学習の機会や場の提供、個人や団体の育成支援、政策・方針決定過程への参画促進に努めるとともに、女性のための相談事業を通じ自立支援を行っている。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		42,041	男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)が、平成16年度から指定管理者による管理運営になったことにより、事業費が減少した。
人件費		2,057	
市民一人あたりの事業費	88	66	
合計	54,300	44,098	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

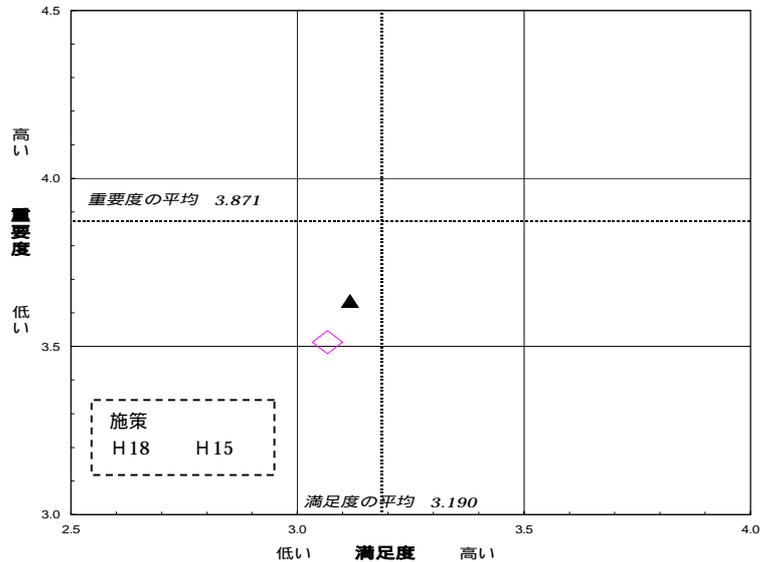
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	市審議会等への女性委員の参画率から、女性委員÷総委員数	審議会等の政策決定過程の場合への女性委員の参画率から、男女共同参画推進の度合いをはかる。	%	17
指標2	ソレイユさがみセミナールームの利用率	セミナールームの利用率から、男女共同参画推進センターに対する市民のニーズをはかる。	%	17
指標3	ソレイユさがみ登録団体数	登録団体数の増減から、男女共同参画推進センターに対する市民(団体)のニーズをはかる。	団体	17
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	40.0	19	審議会等への女性委員の割合が全体の40%	21	審議会等への女性委員の割合が全体の40%	「さがみはら男女共同参画推進条例」第18条に、「男女いずれかが委員総数の10の4未満とならないように努めなければならない。」と規定。 ここ数年の利用率の推移を勘案し、6%(年1.5%)の利用率の増加を見込む。 男女共同参画推進センターが、本市の男女共同参画を推進する拠点施設として、活発な市民活動が行なわれるための登録団体数を100団体とする。
達成率	71.3 %					
指標2	68.0	19	年間のセミナールームの利用率が17年度実績の3.0%の増加。(70.4%)	21	年間のセミナールームの利用率が19年度実績の3.0%の増加。(73.4%)	
達成率	99.1 %					
指標3	79	19	17年度登録数から12団体の増加。(89団体)	21	19年度登録数から11団体の増加。(100団体)	
達成率	97.5 %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

## 4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.066で51施策の中で43番目。  
 重要度は3.513で46番目である。  
 改善要望度は - 0.1651で38番目である。  
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。  
 重要度は、20歳代、70歳以上で高く、30、40歳代で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位が下がり、重要度は大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、20歳代、70歳以上で前回調査より上がり、40、60歳代で大幅に下がっている。  
 重要度の順位では、70歳以上で前回調査より上がり、50歳代で下がっている。



## 5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 ② 1	目標の平均達成率は89.3%であり、ほぼ目標どおりの成果をあげている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	④ 2 1	前回と比較して、市民一人あたりの事業コストが22千円減少した。事業の成果は、男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)の指定管理者制度の導入により、事業参加者や施設利用者の増加、施設の使用料収入増と向上した。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	平均値と比較して満足度が0.124低く、重要度も0.358低い。	
合計		7	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	女性が自ら力をつけ、社会のあらゆる場への参画を促進するため、人材育成事業や自ら学ぶことへの支援事業を実施し、より効果的にエンパワメントを支援する必要がある。
解決策	市民の活動拠点である男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)のより一層の機能の充実を図る。

## 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

市民ニーズを的確に把握・分析し、効率的・効果的な事業を行う必要がある。	2次評価 B
-------------------------------------	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
男女共同参画政策経費	男女共同参画課	1	0.11	2,230	1	0.12	997	8,586	9,583
男女共同参画推進センター 運営経費	男女共同参画課	2	5.05	52,070	2	0.13	1,060	33,455	34,515
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		5.16	54,300		0.25	2,057	42,041	44,098
	合計		5.16	54,300		0.25	2,057	42,041	44,098

